

こしがや住まい・まちづくり塾

まち蔵塾

参加型まちづくり人材育成講座の御案内

江戸時代末期の古蔵が現代によみがえった

まちづくり相談処 油長内蔵を舞台に

学ぶ、考える、語る、実践する

「まち蔵塾」2018年 開講

主催:越谷市住まい・まちづくり協議会

※詳しいご案内は裏面をご覧ください。

第一回講座

2018年
6月8日(金)
18:30~20:30

テーマ「新たな住宅セーフティネット制度」

講師:埼玉県都市整備部住宅課 宮沢康則 氏

■場 所:油長内蔵 (越谷市越ヶ谷三丁目2-19-5)

■案内図:ホームページの利用案内をご覧ください。

<http://www.machi-kura.com/index.html>

■定 員:20名 (参加費無料)

越谷市住まい・まちづくり協議会【居住福祉部会】では、空き家等の有効活用を促進するために「空き家相談会」を行っています。昨年の相談会では、住宅セーフティネット制度に関する問い合わせが多くありましたが、最近はほとんどありません。越谷市に確認したところ、当市でも本制度による登録はないそうです。国土交通省の関係サイトを見ても登録件数が少なく、特に首都圏では少なく東京都では1件もありません。

住宅確保要配慮者と空き家対策を合わせた、我が国初の居住福祉政策であると注目していますが、思いのほか普及していないようです。本制度の概要を学び、課題と今後の対策について意見交換をしたいと考えています。

参加申込はメールにて「まち蔵塾6月8日参加」とし、お名前を(初参加の場合は住所、電話、メールアドレスも)お知らせください。

【お問合せ・申込先】 越谷市住まい・まちづくり協議会事務局 (〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2-185-12)

TEL.048-965-5358 メール:koshigaya.sumamachi@gmail.com

まち蔵塾(こしがや住まい・まちづくり塾)開講のご案内

越谷市住まい・まちづくり協議会(以下、当団体という。)は、「住まい・まちづくり分野において、新しい公共を拓き、自ら問題を解決する経営的市民による住まい・まちづくりを実現すること」を理念に掲げ、「越谷市の住まい・まちづくりを官民連携により推進し、まちづくりの担い手育成を通して、新しい公共としてのソーシャルビジネスを創出し、ひいては、地域経済の活性化に寄与すること」を目的と定めています。

そのためには、これから住まい・まちづくりの担い手として、自ら地域課題を見つけ、自らその解決の途を探し、さらにソーシャルビジネスへと導くことのできる人材の育成が重要だと考えています。

さて、当団体の設立母体である越谷市街づくり協調会は、昭和61年(1986年)の設立以来、毎月定例で勉強会を継続してきました。当初は開発指導要綱の運用に関する勉強会でしたが、社会情勢の変化とともに勉強会のテーマも変遷してきました。最近では、住まい・まちづくりをとりまく環境が多様化し「協働のまちづくり」などのテーマで、当団体やNPO法人越谷市住まい・まちづくりセンターと共に催すようになってきましたが、本年(2018年)当団体の組織改変に伴い、新たに「こしがや住まい・まちづくり塾」として開催することになりました。

この塾は単に知識やノウハウを学ぶだけでなく、学んだものをどのように活かしていくかが問われます。より実践的な内容とするため、毎回、住まい・まちづくり分野における地域課題を取り上げ、これを解決するために、講師を招いての勉強会と議論等ワークショップを組み合わせて、地域にあった手法や仕組みを調査、研究し、新たなソーシャルビジネスの創出を目指します。

明日の住まい・まちづくりの担い手たるとしての諸君の参加をお待ちしています。

越谷市住まい・まちづくり協議会

会長 若色欣爾

■開催要項

日 時:原則毎月第二金曜日 18:30~20:30

会 場:「まち蔵」(まちづくり相談処 油長内蔵)

定 員:20名

受講料:無料

対 象:当団体の会員を中心に、その関係団体やNPO法人越谷
市住まい・まちづくりセンター会員、越谷市住まい・まち
づくり大学のOB、行政職員等を対象とします。

※学ぶテーマの意義を知り、議論できる予備的知識や経験が必要な場合もあります。将来的には、住まい・まちづくりに関心のある一般市民の方も参加できるようにしたいと考えています。

■今年度のプログラム

- ① 新たな住宅セーフティネット制度
- ② 安心R住宅制度
- ③ ランドバンク
- ④ イギリスの空き家対策
- ⑤ 越谷市の調整区域の開発状況
- ⑥ 越谷市の土地区画整理事業進捗状況
- ⑦ 移住・住みかえ支援機構の新たな取り組み
- ⑧ 民泊新法

以上のテーマを予定しています。

MEMO